

全苗連だより

Vol. 55 (2月号)

平成31年2月14日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

平成30年度林業用種苗需給調整に係る協議会等の概要

- ・コンテナ苗需要は増加も総需要量は6千万本割れと引き続き低迷
- ・苗木不足が中部、近畿中国、四国、九州地区で発生
～「平成30年7月豪雨」による記録的な大雨発生による供給量減少並びに突然の需要量急増が主因～

平成30年度の地区別山林種苗需給調整に係る協議会等は、北から順に北海道・東北地区が11月29日新潟市、関東地区が1月15日長野市、東海・北陸地区が11月9日静岡市、近畿地区が11月15日大津市、中国地区が10月30日山口市、四国地区が12月13日松山市、九州地区が11月21日大分市において、林野庁・森林管理局、都道府県、林木育種センター、森林整備センター、都道府県苗組、県森連等の関係者が多数出席して、種子・穂木や山行苗木の需給実績と需給計画、造林計画と山行苗木の需給見込量等について協議が行われました。

また、この協議会においては、種子・穂木や山行苗木の移出・移入の可否並びに広範囲な需給調整のあり方、コンテナ苗生産の取組み状況、特定母樹・花粉症対策品種の生産見込み、優良苗木の安定供給に向けた生産体制支援対策及び担い手対策等についての国・都道府県への要望事項等について熱心な話し合いが行われました。

需給の動向について、第1表に地区別の、第2表に樹種別の需給見通しを掲載しました。

第1表 地区別の山行苗木の需給見通し

(単位:千本)

地区	【H31年1月時点】需給見通し (H30秋～H31春)			【H31年1月時点】需給見通し (H31秋～H32春)		
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足
北海道	23,025	17,136	5,889	21,025	16,018	5,007
東北	11,589	9,945	1,644	11,160	9,357	1,804
関東	7,385	6,626	760	6,794	6,234	560
中部	2,389	2,573	△184	2,758	2,635	123
近畿中国	5,669	5,828	△158	6,910	5,473	1,437
四国	1,705	2,063	△358	1,980	2,131	△151
九州	14,580	14,809	△229	15,285	14,599	687
計	66,343	58,980	7,363	65,912	56,446	9,466

なお、都道府県ごとの数値は、全苗連ホームページ(会員向けページ)にて情報連絡しております。

山林種苗の需給関係は、昭和40年代初頭の13億本が右肩下がりで下がり続けて50年余、ここに来てやっと底を打った(H26/57百万本、H27/61百万本、H28/60百万本)とところです。それまでの需給調整会議の議論の中心であった残苗対策が影を潜め、①裸苗からコンテナ苗への切り替え、②特定母樹由来や花粉症対策苗木の供給、③カラマツの増産等、時代のニーズに対応するものとなってきています。

地区ごとに目を向けますと、苗木不足が中部、近畿中国、四国、九州地区で発生しています。

昨年の時点では、**第1表の2**のとおり、全地区で苗木供給量は需要量を上回っています。

第1表の2 地区別の山行苗木の需給見通し(平成30年1月時点)

(単位:千本)

地 区	【H30年1月時点の需給見通し】(H29秋~H30春)			【H30年1月時点の需給見通し】(H30秋~H31春)		
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足
北海道	19,219	16,448	2,771	21,244	17,045	4,199
東北	9,831	9,818	13	10,508	9,945	563
関東	6,564	5,923	641	5,669	5,658	11
中部	2,514	2,062	453	2,777	1,946	831
近畿中国	5,937	5,732	205	6,652	5,425	1,227
四国	2,130	1,921	209	2,120	2,097	23
九州	14,410	14,144	267	14,730	13,908	823
計	60,604	56,047	4,558	63,700	56,022	7,678

生産量及び需要量について、今年と昨年同期での見込み量を比較したものが、**第1表の3**です。

第1表の3 地区別の山行苗木の需給見通し【昨年同期における見通しとの比較】

(単位:千本)

地 区	生産量 (H30秋~H31春)			需要量 (H30秋~H31春)		
	H30.1時点(a)	H31.1時点(b)	b/a %	H30.1時点(c)	H31.1時点(d)	d/c %
北海道	21,244	23,025	108.4	17,045	17,136	100.5
東北	10,508	11,589	110.3	9,945	9,945	100.0
関東	5,669	7,385	130.3	5,658	6,626	117.1
中部	2,777	2,389	86.0	1,946	2,573	132.2
近畿中国	6,652	5,669	85.2	5,425	5,828	107.4
四国	2,120	1,705	80.4	2,097	2,063	98.4
九州	14,730	14,580	99.0	13,908	14,809	106.5
計	63,700	66,343	104.1	56,022	58,980	105.3

中部、近畿中国、四国、九州地区での生産量が落ち込んでいることが分かります。特に、中部、近畿中国、四国の減少が大きくなっています。昨年の天候を振り返りますと、6月終わりは太平洋高気圧が日本の南東海上で強まって関東甲信地方は記録的に早い梅雨明けとなりましたが、7月はじめにかけて、活動

の活発な梅雨前線や台風第7号の影響を受けて西日本を中心に全国の広い範囲で記録的な大雨となり、「平成30年7月豪雨」が発生したところです。このほかにも、台風や前線などにより全国各地で大雨が発生しました。集中豪雨や台風による苗木生産者への直接の被害につきましては大きくはなかったところですが、この天候不順はその後の生育、得苗に大きな影響を与えたところです。

一方、需要量を見ますと、7地区のうち5地区で需要量が増えています。生産量の減少した4地区についても四国を除き急に需要量が増えました。中部地区にいたっては3割以上の急増となっています。

次に、樹種別の需給見直しを見てみます。

スギ並びにカラマツコンテナ苗に不足が見られます。

第2表 樹種別の山行苗木の需給見直し

(単位:千本)

樹種	【H31年1月時点】需給見直し(H30秋～H31春)			【H31年1月時点】需給見直し(H31秋～H32春)			
	生産量	需要量	過不足	生産量	需要量	過不足	
スギ	総数	23,620	24,680	△1,060	25,365	24,598	767
	(うちコンテナ苗)	8,212	8,407	△195	9,373	9,236	137
	うち花粉対策	10,279	10,859	△580	11,337	11,495	△157
	(うちコンテナ苗)	2,627	3,096	△469	3,620	3,626	△5
ヒノキ	総数	7,023	7,015	8	7,979	6,606	1,373
	(うちコンテナ苗)	1,795	1,723	71	2,130	1,927	203
カラマツ	総数	17,378	15,421	1,957	16,321	14,834	1,487
	(うちコンテナ苗)	1,989	2,037	△48	2,165	2,555	△390
クロマツ	総数	3,592	2,726	865	2,435	1,740	695
	(うちコンテナ苗)	2,804	2,238	566	1,726	1,302	423
小計	総数	51,613	49,843	1,770	52,099	47,779	4,321
	(うちコンテナ苗)	14,799	14,405	394	15,394	15,020	374
その他	総数	14,730	9,137	5,593	13,813	8,667	5,146
	(うちコンテナ苗)	509	594	△85	428	810	△383
計	総数	66,343	58,980	7,363	65,912	56,446	9,466
	(うちコンテナ苗)	15,308	14,999	309	15,822	15,830	△8

以上の需給状況の変化により、前述のような苗木不足が中部、近畿中国、四国、九州地区で発生しています。また、都道府県ごとにみても需給バランスの悪化が見られます。さらに、平成31年度予算については森林整備に係る予算が大きく伸びようとしています(全苗連だより Vol.53 平成30年12月号)。各苗組におかれましては都道府県、森林管理局署、森林総合研究所森林整備センター、都道府県森連等との連携を密にして適切な対応をとるようお願いいたします。

全苗連・苗組の行事予定

～H31. 3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組
実施者;全苗連、都道府県苗組

- 2月4日 当年生苗導入調査委託事業検討委員会(日林協会館)
- 2月13日 林木育種成果発表会(森林総合研究所林木育種センター)(木材会館)
- 2月17日 宮城定右衛門氏黄綬褒章受章記念祝賀会(滋賀県草津市)
- 2月19日 中央需給情報連絡協議会シンポジウム((財)日本木材総合情報センター)
- 2月20日 岩手県山林種苗協同組合通常総会(花巻市渡り温泉別邸)
- 2月21日 群馬県山林種苗緑化協同組合通常総会(群馬県公社総合ビル)
- 2月22日 茨城県林業種苗協同組合通常総会(水戸京成ホテル)
- 2月22日 一般社団法人日本林業協会総会(法曹会館)
- 3月4日 シンポジウム「早生樹・エリートツリーの現状と未来」(林野庁)(東京大学)
- 3月8日 第2回中央需給情報連絡協議会((財)日本木材総合情報センター)
- 3月20日 林退協運営委員会第38回(大手町カンファレンスセンター)
- 3月20日 一般社団法人林業薬剤協会第2回理事会(学士会館)
- 5月10日 全苗連理事会(調整中)(砂防会館)
- 5月24日 全苗連総会(調整中)(砂防会館)
- 9月5日 第5回全苗連生産者の集い(愛媛県 松山市総合コミュニティセンター)
～6日